

北広島市立西の里中学校 学校改善プラン

学校教育目標

- ◎賢く・・・自ら学びつづける力
- ◎優しく・・・豊かな感性と想像力
- ◎たくましく・・・しなやかな心と体

令和3年度学校課題「確かな学力の向上を目指した小中一貫教育における指導方法及び教育課程の工夫改善」～「わかる・はなす・みにつく」授業を中心に、分離型施設における効果的な連携を実現させるため

■実施期間 令和3年11月1日～令和4年10月31日

Research!(調査・探求) =本校の実態・課題=

■学習 《「令和3年全国学力・学習状況調査」「教研研NRT学力検査」等教科に関する調査から》

*全国学力・学習状況調査(中3)では、国語は全道全国を上回り市内平均と同じだった。数学は全道全国市内平均を下回った。

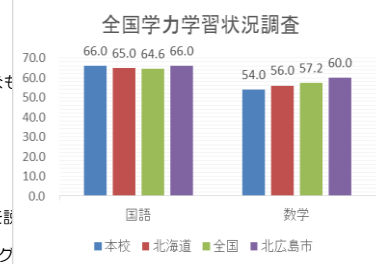
◎～正答率が80パーセント以上。△～正答率が30パーセント以下。

【国語】

- ◎話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する。
- ◎話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。
- ◎意見文の下書きの構成の工夫について自分の考えを書く。◎漢字を読む。◎「随時」の意味として適切なものを選択する。

【数学】

- ◎反復横跳び記録の中央値を求める。◎四角で囲んだ4つの数が1, 2, 13, 17, 18の時、それらの和が4の倍数になるかどうか確かめる式を書く。
- ◎与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める。
- △四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを調べ、△与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。
- △「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、△△ARGや△ASGの大きさについていつでもいえることを書く。



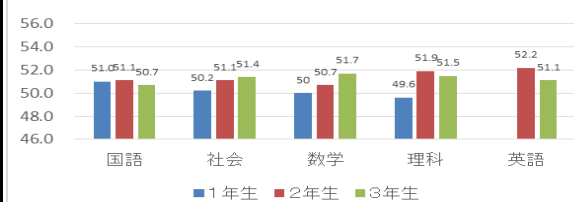
*標準学力検査偏差値平均は、3年生は数英で市内平均を下回った。2年生は英語は市内平均を僅かに下回ったが、それ以外の教科で市内平均を上回った。特に社会は大きく上回った。1年生は数学以外の教科で市内平均を下回った。

- 1年生は領域別に見ると、数学の「数と式、図形」、理科の「エネルギー、生命、地球」、社会の「歴史、地理分野」に課題が見られ、全国比100を下回った。
- 2年生は領域別に見ると、数学の「関数」、英語の「読むこと」社会の「歴史」、理科の「エネルギー、粒子、生命」に課題が見られ、全国比100を下回った。
- 3年生は領域別に見ると、数学の「数と式、図形」に課題が見られ、全国比100を下回った。英語は特に話すことが90と、早急な改善が必要である。

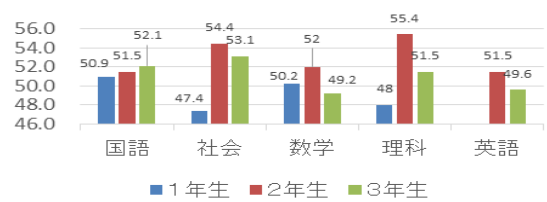
■生活 《「R3全国学力・学習状況調査質問紙」の結果から》

- ◎朝食を毎日食べている。◎1日当たり10分以上読書をする。◎スマホの使い方など、家の人との約束を守っている。◎将来の夢や希望を持っている。◎いじめはほとんどない。◎いじめがあってもいじめられないことだ。◎地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができる。◎自分で計画を立てて家で勉強をしている。△自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。△難しい事にも失敗を恐れないで挑戦している。△自分の思っている事を、きちんと言葉で表すことができる。△自分にはよいところがある。△新聞を読んでいる。

NRT偏差値平均(市内中学校)



NRT偏差値平均(西の里中)



Plan!(計画・準備) =具体的な計画・目標=

- 全国学力・学習状況調査～国語、数学において、全国平均を上回る。
- NRT標準学力検査で、観点別・領域別ポイントで、全国比100以上を目指す。
- 各種テストで、点数3割以下の生徒を0%に近づける。
- 里中アンケート各項目で、100%に近づける。いじめはどんなことがあっても許されないを100にする。
- 生活習慣改善～生活リズム確立と家庭学習の質の向上・継続

Do!(実践・実行) =指導・活動内容=

「学習の意義を理解し、進んで学習に取り組む指導の充実」【学習】

- ◎進路指導を中心とした自分の将来に対して、見通しを持たせる学習の推進
- ◎総合的な学習を中心に、集団や社会に貢献するために個々の特性に気づかせ、伸ばす指導の強化
- ◎将来の展望に対し、見通しを持たせるためのキャリア学習の工夫と充実
- ◎夢や目標を持ち、それらに向かって力強く取り組ませる日常的な教育活動の支援
- ◎家庭学習定着補強対策～テストに向けた自主学習の指導の強化
- ◎各教科のオリエンテーション資料を家庭に配布しての家庭との連携の強化
- ◎生徒会学芸委員会による主体的な朝学習ベースックテストの取組の推進

「日常生活の改善と充実」【生活】

- ◎全職員で積極的な生徒指導に努める
- ◎ボランティア活動等積極的に推進し、豊かな心の育成に努める
- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」等、基本的な生活習慣の確立に一層努める
- ◎保護者への啓蒙、情報発信等を通して家庭との連携を推進する
- ◎生活実態を把握し、生活改善を図るためのアンケート調査の実施と活用

「自己有用感の育成」【連携】

- ◎健連協やシルバーPTA等、地域の教育力の活用を推進する
- ◎地域行事やボランティア活動に一層積極的に参加する
- ◎地域の各団体と連携した教育活動の工夫改善に努める
- ◎地域行事等に職員も様々な場面で関わりを深め、開かれた学校づくりを推進する
- ◎小中一貫教育教科部会で作成した教科系統表を活用する

合言葉 「すべての教育活動は、学力向上につながる」
「すべての教育活動は、いじめ未然防止につながる」
「すべての教育活動は、キャリア教育につながる」

Check!(評価・検証) =具体的な方策=

- チャレンジテスト・授業状況の分析等から課題・方策の再検証。
- 4月実施の全国学力・学習状況調査、標準学力検査の結果分析と校内研修。
- 各種学力検査・諸検査の結果分析、日常の学習状況、定着状況 ⇒ 目標の再設定。
- 月別評価点検簿、保護者アンケート、学校評価を活用しての見直し。

Action!(改善・行動) =具体的な方策=

- 授業改善の推進
 - ①よりわかる授業を推進するため、研究部を中心に、授業公開に基づく研究協議を行い、指導法についての研修を行う。
 - ②目標提示、まとめ・定着をきちんと取り入れた授業を実施し、指導と評価の一体化を常に推進する。
- 個に応じた指導の推進
 - ①効果的な習熟度別指導を推進し、指導法についての検証をはかり、改善に努める。
 - ②教科教育相談、学級教育相談等を効果的に実施し、生徒一人一人の実態に即した指導を推進する。
- 指導計画等の改善
 - ①指導と評価の一体化を常に意識し、目標に準拠した評価の実施に努め、常に改善の意識を持って授業に取り組む。
 - ②年間指導計画について、教科部会において常に検討を行い、効果的な指導の推進に努める。